

大牟田市に関する、さまざまな出来事を写真とともに紹介します。

※撮影の時だけ一時的にマスクを外していただいています。

## まちかどレポート

### 日本一の捕手を目指して ～ 本市からプロ野球選手が誕生！ ～

プロ野球・埼玉西武ライオンズからドラフト3位指名を受け入団が決まった、九州国際大学附属高等学校3年の野田海人さん（大牟田市出身）が12月26日、関市長に入団を報告しました。

野田さんは「目標は『日本一の捕手』。まずは、けががないよう焦らずじっくりと体をつくっていきたい」と抱負を述べ、関市長は「本市からプロ野球選手が誕生し、大変うれしく思います。目標に向かって頑張ってください」と激励しました。



### JOCオリンピック教室で、市内中学生がオリンピックの意義や価値を学ぶ



歴木中学校2年生が12月2日、オリンピック（オリンピック出場経験者）の石野枝里子さん（スケート／スピードスケート）と坪井保菜美さん（体操／新体操）による講義を受け、オリンピック（人生哲学）やオリンピックの価値などについて学習しました。

講師のオリンピックから大会出場等の貴重な経験について話を聞いたり、一緒に運動したりするなどして、ふれあいながらスポーツの楽しさを感じました。



### 侍ジャパン女子代表監督が帰郷報告

本市出身で女子野球日本代表（侍ジャパン女子）の監督を務める中島梨紗さんが、市長を表敬しました。中島さんは「優勝報告ができるよう頑張ります」と抱負を述べ、市長は「大牟田で野球をする少年少女の目標となってほしい。活躍を期待しています」と応援の言葉をかけました。



左から くらた ちすず（橘中2年）、市長、むらかみ こう（羽山台小6年）、高野萌衣さん（手鎌小6年）

### 市内小・中学生が全国大会出場

熊本県のバスケットボールクラブACの中学生チーム（AC U15）および小学生チーム（AC玉名）が県予選で優勝し、全国大会への出場が決まったことを各メンバーの3人が市長に報告しました。3人は「勝ちにこだわりたい」「チーム一丸となり頑張りたい」と意気込みを語りました。



## 県内初「とびうめネット」利用拡大に向け 県や県医師会など4者で連携協定を締結

「とびうめネット」は、本人同意のもと、病歴や薬の処方、アレルギーなどの情報をあらかじめ登録し、医療機関の間で参照できるシステムです。この協定により、とびうめネット利用拡大を図るため、医療機関での登録に加え、市の窓口でも登録できるようにし、より適切な医療の提供に役立てます。



## 地域防災を願って 消防出初式

1月8日、文化会館および笹林公園で消防出初式が開催され、消防職員や消防団員などが消火訓練等を行いました。

晴天の下、消防団やデンカ(株)および三井化学(株)の自衛消防隊による一斉放水では、その迫力に見学者から歓声があがりました。



左から、歴木中PTA会長の小川正希<sup>まさき</sup>さん、同PTA広報委員長の岩田香織さん、同校の黒木教頭

## 歴木中PTA広報紙 全国コンクール企画賞

歴木中学校のPTA広報紙「くぬぎ」が、第44回全国小・中学校PTA広報紙コンクールにおいて企画賞に輝き、教育長へ受賞を報告しました。受賞の対象となったのは、コロナ禍での生徒と保護者へのアンケート結果や校区内の通学路危険箇所マップを掲載した2021年度（令和3年度）発行分。広報委員長の岩田香織さんは「コロナ禍で学校行事が少ない中、元気に頑張っている子どもたちの姿を地域や保護者の皆さんに届けた一心で作りました」と話しました。



## 災害に強いまちづくりへ

12月21日、(株)三井三池製作所から企業版ふるさと納税を活用した1千万円の寄付をいただきました。

同社の中村元彦社長は「大牟田には社員も多くいる。災害の予防などに役立ててほしい」と話し、市長は「災害に強いまちづくりのため、大切にに使わせていただきます」とお礼の言葉を述べました。



左から、宮地日出丸さん、市長、松尾礼子さん

## スポーツ振興の功績を称え

地域住民のスポーツ振興のため活動を続けてきた、スポーツ推進委員の宮地日出丸<sup>みやぢ ひでまる</sup>さんと松尾礼子さんが、全国スポーツ推進委員連合より表彰を受けたことを市長に報告しました。

2人は「地域の人と交流しながら楽しく活動できました。今後も地域を盛り上げたい」と話しました。